



宮崎まさお

山形後援会便り 第5号(2024年8月)

宮崎まさお議員との座談会 「農座の会in水の郷Nagai」 盛会に開催される！



7月10日早朝に木村秘書、堀畑氏(県担当)とともに米沢駅に到着し、米沢平野土地改良区佐貝理事長はじめ職員の方々へのご挨拶を皮切りに、令和4年8月豪雨で被災した国営白川幹線用水路にて白川土地改良区の高橋理事長から御礼と西置賜農村整備課の長岡課長から復旧経緯の説明を受けました。(被災直後に宮崎議員が被災現場を視察)



西置賜地域は、昭和39年度に本県初となる県営ほ場整備が実施された地域で、担い手の高齢化や施設の老朽化などの多くの問題を抱え、世代交代を機に、地域の話合いで整備が進められています。

午後の座談会の前に、朝日連峰を背景とする風光明媚な農村地域で、完了を目前にした成田4期地区と草岡4期地区の工事現場を視察しました。



続いての座談会では、宮崎議員から『みなさん！こんにちは！宮崎まさおです』と元気いっぱいのご挨拶と本県での勤務経験など自己紹介が行われ、地域の実情や事業を契機とした地域の未来について



て、地域振興を支えている中核的な農業者や土地改良区、地域の安全・安心を支えている地元建設業者が集まり、熱心な話し合いが行われました。

座談会を終え、来夏の参議院議員選挙で「再選に向けて頑張ろう！」のシュプレヒコールが力強く行われました。



森林・水産団体からも 宮崎まさお推薦決議！

宮崎議員をお迎えするにあたり、4月下旬から堀畑氏の支援を得ながら県内の森林組合や漁業組合を訪問し、宮崎議員の政務活動や関連団体からの推薦などをお伝えする取組みを実施しました。

〔関連団体からのお声〕

- 森林組合**(出羽庄内・北庄内・温海・最上広域)
 - ・森林法、管理法の改正により所有者変更の届出が義務化されたが、管理出来ないため「**相続放棄**」が増えてきている。
 - ・国の森林環境譲与税を活用したいが、市町村の**森林整備計画の整備要件**が課題。
 - ・是非、森林経営の安定化を図るためにも、円滑な**経営権の移転**に繋がる支援を要請。
- 漁業関係**団体(県漁協・県水産振興協会)
 - ・本県漁業の主力は「**沿岸漁業**」であるが組合収入の大半は**県外船団**による「**夏イカ(するめいか)**」の荷揚げ収入である。
 - ・近年、海水温上昇の影響と言われる**不漁**が続いており、**廃業する漁家**が増加傾向にある。
 - ・沿岸漁業の収入安定化を図るための「**つくり**

育てる漁業」や資源管理の徹底、さらに不漁などから漁業者を守るための**経営支援制度「積立ぶらす」**の充実化と恒久化を要望。



【県栽培漁業センター飼育棟(鶴岡市三瀬)にて】

〔7/10～11 意見交換した関連団体〕

- 最上広域森林組合(組合長 佐藤景一郎氏)
- 県森林組合連合会(専務 斎藤 潔氏)
- 県水産振興協会(理事長 佐藤 正明氏ほか)

宮崎まさお プロフィール

昭和 38 年 兵庫県神戸市北区山田町生まれ
54 年 兵庫県立兵庫高等学校入学
57 年 神戸大学農学部農業工学科入学
61 年 農林水産省入省、平成 29 年 辞職

〔主な職歴〕

- ・在ベトナム日本国大使館二等書記官
- ・東北農政局最上川下流農業水利事業所第1課長
- ・カンボジア水資源気象省派遣(JICA 専門家)
- ・国際協力銀行開発セクター一部参事役
- ・熊本県農林水産部農村計画・技術管理課長
- ・(社)地域環境資源センター集落排水部長
- ・農村振興局設計課海外土地改良技術室長
- ・農村振興局地域整備課長辞職

平成 30 年 政治活動をスタート

「農山漁村は未来への礎」

～日本の未来への礎づくりに全力を尽くす覚悟！～
令和 元年 第 25 回参議院議員通常選挙初当選

〔議員の役職〕

- ・元農林水産大臣政務官
- ・予算委員会理事、農林水産委員会委員
- ・政策審議会副会長、政務調査会農林部会副会長
- ・政務調査会水産総合調査会副会長